青果物の鮮度・栄養・ 品質保持技術としての 各種フィルム・包装での 最適設計

AndTech

執筆者紹介

1章

牧 野 義 雄 東京大学 大学院農学生命科学研究科 准教授 博士(農学)

2章

吉 田 実 花 東京農業大学 大学院研究生 博士(農学)

馬場 正 東京農業大学 農学部 農学科 教授 博士(農学)

出 口 慶 拓 山形大学 大学院有機材料システム研究科 博士前期課程1年

牧 野 真 人 山形大学 学術研究院 助教 博士(工学)

東 原 知 哉 山形大学 学術研究院 准教授 博士(工学)

朝 来 壮 一 大分県産業科学技術センター 食品産業担当 主任研究員

野 田 智 昭 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 花・野菜技術センター 研究部 生産環境グループ 研究主査

吉 田 慎 一 ホクレン農業協同組合連合会 農業総合研究所

食品検査分析センター 食品流通研究課 主査

阿 部 一 博 帝塚山学院大学 教授

大阪府立大学 名誉教授 農学博士

3章

葛 良 忠 彦 包装科学研究所 主席研究員 工学博士

井 坂 勤 有限会社テクノワールド 代表取締役社長

溝 添 孝 陽 住友ベークライト株式会社 P-プラス開発部 青果物評価CSセンター長

加 藤 桂 一 西華産業株式会社 産業機械部 次長

御 影 雅 良 文京学院大学 客員教授

志 水 基 修 レンゴー株式会社 中央研究所 研究企画部 研究企画課 課長

仁 **宮 賢** 二 日本合成化学工業株式会社 営業本部 ソアノール部 部長(技術・開発担当)

北 澤 裕 明 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 主任研究員 博士(工学) 博士(農学)



目次

第1章 青果	具物の鮮度保持技術を支える包装フィルム・材料の基礎原理	里 001
第1節 青	果物の収穫後生理と各種包装技術が鮮度保持のため有効に機能	もする仕組み しゅうしゅう
••••		001
東京大学	牧野 義雄	
はじめに		001
1. 収穫後生	理	001
1-1 収穫	隻後鮮度低下の機作	001
1-2 呼吸	B	002
1-3 クラ	ライマクテリックライズ	004
1-4 蒸散	ά · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	006
1-5 鮮度	度評価	007
1-5-1	水分・目減り・萎凋	007
1-5-2	外観色	008
1-5-3	L-アスコルビン酸	010
1-5-4	軟化	010
1-5-5	細胞膜劣化	011
1-5-6	鮮度評価の現状と課題	012
2. 各種包装	長技術が鮮度保持のため有効に機能する仕組み	012
2-1 包装	支による鮮度保持の概要	012
2-1-1	鮮度保持包装資材の特殊性	012
2-1-2	青果物包装資材に要求される機能	012
2-2 萎凋	周抑制用包装資材	013
2-2-1	防曇延伸ポリプロピレンフィルム	013
2-2-2	ハンカチ包装用資材	013
2-3 気体	本組成制御	014
2-3-1	基本原理	015
2-3-2	MAPの設計	016
2-3-3	MAPの鮮度保持効果	019

おわりに **019**

第2章 青果物の品質保持に関わる各種青果物の生理・劣化現象と記	
用事例	_
第1節 青果物流通における MA 包装適用事例と長期貯蔵への利用	023
東京農業大学 吉田実花、馬場 正	
1. 青果物流通で用いられている MA 包装	023
2. 長期貯蔵へのMA包装の利用	024
3. 嫌気的補償点を貯蔵に利用する	025
第2節 山形県産オウトウ用鮮度保持パッケージの開発 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
・ハイドロゲルと3Dプリンタの活用~	028
山形大学 出口 慶拓、牧野 真人、宮 瑾、東原 知哉	
山形人子 山口 废扣、牧虾 具八、呂 理、果原 知政	
はじめに	028
1. 山形県産オウトウ用パッケージの設計	029
2. ハイドロゲルシートの評価	030
3. 山形県産オウトウ用パッケージの小口輸送試験	031
おわりに	033
第3節 真空予冷に対応したニラの鮮度保持包装	······ 035
大分県産業科学技術センター 朝来 壮一	
はじめに	035
1. 青果物の鮮度保持包装	035
2. ニラの鮮度保持包装	036
2-1 ニラの鮮度保持包装の開発	036
3. 真空予冷に対応したベジブレスパック	037
4. ベジブレスパックの鮮度保持性評価	041
5. 折り曲げ構造による通気制限	044

第4節 MA包装フィルムを用いたブロッコリーの低コスト・鮮度・	保持流通技術
	051
地方独立行政法人北海道立総合研究機構 野田 智昭	
ホクレン農業協同組合連合会 吉田 慎一	
はじめに	051
1. 保冷庫での保管試験	052
2. 実際の流通試験	054
3. 経済性評価	056
4. まとめ	056
おわりに	057
第5節 カット青果物における劣化現象と鮮度保持へ向けた課題・	
大阪府立大学名誉教授·帝塚山学院大学特任教授 阿部 一博	3,5
はじめに	058
1. カット青果物のマーケット	059
1-1 カット青果物の種類	059
1-2 市場ニーズ	060
1-3 購入意識調査 1-3-1 食品摂取動向	060 060
1-3-2 カット青果物の購入意識	060
1-4 諸外国における利用状況	061
2. カット青果物の原料青果物	062
3. カット青果物の生理・化学的ならびに微生物学的特性	062
3-1 生理·化学的変化	062
3-2 栄養成分の変化	063
3-3 色調の変化	063
3-4 微生物による腐敗	063
3-4-1 微生物の変化	063
3-4-2 腐敗速度と切断方法	064
4. カット青果物の製造ならびに流通技術	064
4-1 製造工程	064
4-2 品質保持技術	066
4-2-1 温度·湿度制御	066
4-2-2 包装・保持環境ガス制御	066

	4-5	2-3 化学物質処理	067
5	. カッ	ト青果物製造の現状	067
6	. 筆者	が行ったカット青果物の品質保持に関する研究の概要	068
	6-1	カット青果物の生理・化学的特性と鮮度保持材による品質保持	069
	6-2	プラスチックフィルム包装されたカット青果物の生理・化学的変化と品質	賃保
		持	069
	6-3	切断形状が異なるカットピーマンの生理・化学的特性と腐敗速度の差異	069
	6-4	切断形状が異なるカットニンジンの生理・化学的特性と切断面の特性なら	らび
		に腐敗速度	070
	6-5	冷風乾処理したカットキャベツの生理・化学的特性と品質保持	072
	6-6	切断形状が異なるカットキュウリの生理・化学的特性と腐敗速度	072
	6-7	切断形状と熟度が異なるカットバナナの生理・化学的特性と褐変・果肉の	軟
		化速度	072
	6-8	熟度が異なるミニトマトとピーマンの切断応答反応	073
	6-9	栽培条件が異なる野菜の切断応答反応	073
	6-10	電解水処理によるカット青果物の微生物制御と品質保持	074
	6-11	野菜切片の生体膜の特性変化と腐敗速度の関連性	075
1	おわり	ic .	075
第3	3章	青果物の鮮度保持技術を支える包装フィルム・材料の技術開発動向	
			077
-	第1節	鮮度保持フィルムによる MA 包装の技術動向と今後の課題 ····································	077
1	见 装料的		
,		学研究所 葛良 忠彦	
	L 10 12		
	よじめ 害用	NZ	077
	. 青果	に 物の生理活性	077
	.青果 1-1	に 物の生理活性 呼吸作用	077 077
	.青果 1-1 1-2	に 物の生理活性 呼吸作用 成長ホルモン作用	077 077 078
	. 青果 1-1 1-2 1-3	に 物の生理活性 呼吸作用 成長ホルモン作用 水分蒸散作用	077 077 078 078
1	. 青果 1-1 1-2 1-3 1-4	に 物の生理活性 呼吸作用 成長ホルモン作用 水分蒸散作用 栄養成分の変化	077 077 078 078 078
1	. 青果 1-1 1-2 1-3 1-4 . 青果	に 物の生理活性 呼吸作用 成長ホルモン作用 水分蒸散作用 栄養成分の変化 物の鮮度に影響する要因	077 077 078 078 078 078
1	. 青果 1-1 1-2 1-3 1-4 . 青果 2-1	に 物の生理活性 呼吸作用 成長ホルモン作用 水分蒸散作用 栄養成分の変化 物の鮮度に影響する要因 温度	077 077 078 078 078 078 078
1	. 青果 1-1 1-2 1-3 1-4 . 青果 2-1 2-2	に 物の生理活性 呼吸作用 成長ホルモン作用 水分蒸散作用 栄養成分の変化 物の鮮度に影響する要因 温度 湿度	077 077 078 078 078 078 078 078
1	. 青果 1-1 1-2 1-3 1-4 . 青果 2-1 2-2 2-3	に 物の生理活性 呼吸作用 成長ホルモン作用 水分蒸散作用 栄養成分の変化 物の鮮度に影響する要因 温度 湿度 湿度	077 077 078 078 078 078 078 079
1	. 青果 1-1 1-2 1-3 1-4 . 青果 2-1 2-2	に 物の生理活性 呼吸作用 成長ホルモン作用 水分蒸散作用 栄養成分の変化 物の鮮度に影響する要因 温度 湿度	077 077 078 078 078 078 078 078

o 好应用 + + 与 + +	004
3. 鮮度保持包材	081
3-1 防曇フィルム	081
3-2 MA包材	082
3-3 パーシャルシール包装	085
3-4 エチレン吸着包材	086
3-5 鮮度保持段ボール Number 1	086
4. 防菌・防かびフィルム	088
5. 鮮度保持包装の現状	089
第2節 鮮度保持フィルムとしての OPP フィルム ······	091
有限会社テクノワールド 井坂 勤	
はじめに	091
1. 青果物鮮度保持専用 OPP フィルムの発明	092
2. 鮮度保持に影響する諸要因	092
2-1 青果物の呼吸生理作用と水分蒸散量	092
2-2 鮮度保持への影響要素	093
2-2-1 品温管理	093
2-2-2 水蒸気、ガス濃度調節	093
2-2-3 外的、物理的損傷	093
2-2-4 微生物	094
2-2-5 光の影響	094
2-2-6 風の影響	094
3. 防曇性OPPフィルムの技術開発の始まり	094
3-1 青果物鮮度保持用 OPP フィルムとはどのようなフィルムか	094
3-1-1 フィルムの役割	094
3-1-2 青果物の特性とOPPとのマッチング	096
3-2 各種フィルムのガス透過性と鮮度保持効果の関係	098
3-2-1 Iゾーンのフィルム群(高酸素、高水蒸気透過度)	099
3-2-2 Ⅱゾーンのフィルム群(高酸素透過度、低水蒸気透過度)	099
3-2-3 Ⅲゾーン (低酸素透過度、低水蒸気透過度)	101
3-2-4 Ⅳゾーン (低酸素透過度、高水蒸気透過度)	101
3-3 なぜOPPフィルムが鮮度保持包材に適しているか	101
4. 青果物包装に要求されるフィルム特性	102
4-1 呼吸生理作用抑制	102
4-2 防曇性	102

4-3 製袋機械特性	103
4-3-1 溶断シール性	103
4-3-2 熱版シール	105
4-3-3 強度	105
4-3-4 密封性	105
4-4 透明性、光沢	106
4-5 充填作業性	106
4-6 耐クリープ性	106
5. 防曇性OPPフィルムの基本技術	106
5-1 プラスチックフィルムの濡れ挙動	106
5-2 防曇性を付与する方法	108
5-2-1 防曇剤塗布	108
5-2-2 接着剤を用いる方法	108
5-2-3 表面活性化処理	108
5-2-4 表面粗面加工	109
5-2-5 界面活性剤の練込	109
5-2-6 表面に高度の疎水性を付与	109
6. 防曇性発現の原理	109
7. 青果物鮮度保持包装に関係する技術開発の経緯	111
7-1 青果物鮮度保持包装の草創期	113
7-1-1 草創期 模索期	113
7-1-2 草創期 ポリエチレンフィルム包装フィルム包装及び開穴に	よる透過性
調節	113
7-1-3 第一世代 青果物鮮度保持専用防曇 OPP フィルムの発明	113
7-1-4 第一世代フィルムに開孔の精度アップによるガス透過性の微	調節技術の
出現	113
7-1-5 第二世代	113
7-1-6 針孔加工による開孔技術の普及	114
7-1-7 第三世代	115
7-1-8 第四世代 開孔技術の微細化、高精度化	115
7-1-9 物理的加圧擦傷加工	116
7-1-10 第三世代 スリット及び切れ込み袋の開発	118
8. 包装形態の実例	118
9. 市販鮮度保持用 OPP フィルム	119
9-1 現在市販されている青果物鮮度保持用 OPP フィルム	119
9-2 機能性を付与した市販 MA 包材	120

10. 包装效	効果	120
10-1	访曇性	121
10-2 #	鲜度保持効果	121
10-2-	-1 ブロッコリー鮮度保持	121
10-2-	-2 ネギの鮮度保持	123
10-2-	-3 その他の実例	123
11. カット	ト野菜の鮮度保持の概要	123
11−1 ₹	現状の包装形態	123
11-1-	-1 ピロー包装	124
11-1-	-2 四方シール包装	124
11-1-	3 三方シール包装	124
11-1-	-4 カップ及びトレー	124
11-2 t	包装形態とフィルムの関係	124
11-2-	-1 ガス透過性包装の重要性	125
11-3 #	鮮度保持の基本 品温管理	125
11-3-	-1 ガス充塡包装	125
11-3-	-2 密封包装	125
11-3-	-3 硬包材	126
11-3-	-4 蓋材	126
11-3-	-5 軟包装	126
おわりに		126
第3節 無	#孔通気性フィルムによる鮮度保持包装 ······	128
フタムラ化	化学株式会社 花市 岳	
はじめに		128
1. 無孔通	気の原理	128
2. 無孔通	気性フィルムの機能	130
3. 青果物	に対する鮮度保持包装 (例:ブロッコリー)	131
4. 加工食	品に対する鮮度保持包装 (例:切り餅)	134
おわりに		135

第4節 ミクロ穴加工を行った鮮度保持フィルムP-プラスと各種適用事例 ······	· 137
住友ベークライト株式会社 溝添 孝陽	
1. 従来の包装形態の課題およびMA包装の概要 (機能・メカニズム・対象とする青	果物)
	137
2. P-プラスの機能概要および利用分野のメリット	140
3. P-プラスの適用事例	141
3-1 枝豆	141
3-2 カット野菜	143
3-3ブロッコリー	144
3-4 不知火	145
4. P-プラスの新製品への展開	146
4-1 結露防止フィルム	146
4-2 防カビフィルム	147
5. P-プラス今後の展開について	148
第5節 MA/MH包装資材Xtend ^{-®} による青果物の鮮度保持と国内普及への道 ···	· 149
西華産業株式会社 加藤 桂一	
文京学院大学 客員教授 御影 雅良	
はじめに	149
1. Stepac 社が掲げる「鮮度保持」について	149
2.「単なるMA包装」ではないXtend [®] 包装袋の特徴	152
3. Xtend ^{-®} は、青果物毎、包装重量毎にパーソナライズされた袋	152
4. 「周辺環境 (コールドチェーン)」の構築	154
4-1 冷やし方	154
4-2 温度調整	155
4-3 湿度調整	155
4-4 効果的な冷やし方の結論	155
5. Xtend [®] の国内展開時に顕在化した課題	156
第6節 青果物の鮮度を保持することができる段ボール包材	· 158
レンゴー株式会社 志水 基修	
14 N 14 17	150
はじめに	158
1. 青果物用段ボールケースと鮮度保持段ボールケースの使用量	158

2. 鮮度保持段ボールケースの開発動向	159
3. 鮮度保持段ボールケースの用途	160
3-1 蒸散抑制段ボールケース	160
3-2 蒸散抑制段ボールケースを用いたカキの軟化抑制	161
3-3 蒸散抑制段ボールケースを用いた青果物の輸出	162
3-4 保冷段ボールケース	162
3-5 ガス調節剤を併用した青果物の成分保持段ボール包装	164
おわりに	166
第7節 EVOH樹脂の包装分野における取り組み	167
日本合成化学工業株式会社 仁宮 賢二	
はじめに	167
1. EVOH樹脂の特性	167
1-1 ガスバリア性	169
1-2 耐薬品性	170
2. EVOH樹脂の用途例	170
2-1 コーヒーポーションカップ	171
2-2 スキンパックと MAP 包装	172
2-3 パウチの脱アルミ化	173
おわりに	174
第8節 青果物の品質保持に関わる各種の技術・包装設計	175
国立研究開発法人農業,食品產業技術総合研究機構 北澤 裕明	
はじめに	175
1. 青果物輸送のための損傷防止包装設計	175
1-1 荷扱いを考慮した損傷防止方法 (オウトウ)	175
1-2 携行容器における低コスト緩衝設計(リンゴ・ナシ)	178
1-3 易損性が異なるものを混載する包装方法 (イチゴ)	179
1-4 対象物の形状や大きさの違いに対応可能な損傷防止方法(フ	ブドウ) 181
おわりに	182

第1章 青果物の鮮度保持技術を支える 包装フィルム・材料の基礎原理

第1節 青果物の収穫後生理と各種包装技術が 鮮度保持のため有効に機能する仕組み

東京大学 牧野 義雄

はじめに

青果物の鮮度を保持するためには、収穫後における生理現象と鮮度低下機作について理解しておく必要がある。鮮度低下の仕組みを理解することで、それを防止あるいは抑制する方法を考案すれば、そのまま鮮度保持法として有効に機能することとなる。包装も鮮度保持に有効であり、本書で後ほど紹介するように、いくつかの技術が既に実用化され、新技術の開発も継続中である。鮮度低下は、青果物が収穫後においても生命活動を継続することが主な原因であり、細胞・組織内で起きる生理代謝そのものである。そこで本節では、本書の冒頭にあたり、青果物の収穫後生理について説明する。さらには、収穫後生理に起因する鮮度低下の抑制法としての、鮮度保持包装法について概説する。

1. 収穫後生理

1-1 収穫後鮮度低下の機作

植物は、栽培中は根から土壌中の水、気孔から大気中の CO₂、そして太陽光を葉面の葉緑体で受光し、光合成を営むことによって有機物を生合成する。一方、根から窒素、リン、カリウムなどの無機成分を吸収し、植物体を形成すると同時に、脂質、炭水化物など生合成した有機物を根、茎または子実といった貯蔵器官に蓄える。栽培終了後は、植物の種類によって異なるが、芽、茎、花、葉、根または子実といった器官が収穫され、青果物となって流通、貯蔵、販売に供される。その時、すでに根と葉からの無機成分や光の吸収が途絶えているが、保有する炭水化物、脂質、有機酸などの栄養成分の消費は継続し、水分を蒸散しながら生命活動を続ける。これが、変色、萎凋といった外観品質の劣化や栄養成分の減少として現れる鮮度低下の主要な機作である(図1)。

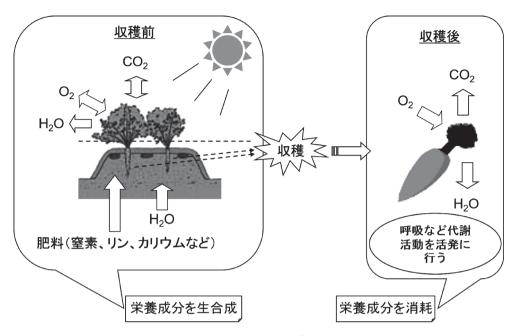


図1 青果物の鮮度低下メカニズムの概要1)(©2006誠文堂新光社)

1-2 呼吸

青果物の鮮度低下に大きく影響を及ぼす要因の一つが呼吸であり、保有する栄養成分を消耗 する生命活動であることから、収穫後においては外観品質の劣化、栄養成分の消耗、目減り等 を引き起こす。青果物の呼吸速度が大きい品目ほど鮮度保持期間が短いという報告2)があり、 呼吸の遅速(呼吸速度)が収穫後における青果物の品質保持期間に大きく影響を及ぼすことを 裏付ける(図2)。細胞内に取り込まれた ○。分子の多くは、呼吸鎖の末端に位置する H゚酸化 酵素「シトクロム c オキシダーゼ (COX, EC 1.9.3.1)」により消費される4。一部の H⁺は、 ATP 合成酵素の作用を駆動し、生命活動に必要な高エネルギー化合物「アデノシン5'-三リン 酸(ATP)」を生成する50。これを、酸化的リン酸化(OXPHOS)という(図3)。一方、植物 細胞に特有な H[†]酸化酵素として、オルタナティブオキシダーゼ(AOX)の存在が知られてい る®。さらに、O。吸収速度水準が低い範囲では COX 反応が優勢となり、水準が上がるほど AOX の寄与率が上昇することも報告されている⁹⁾。ブロッコリーを用いた研究で、環境気体組 成が AOX誘導量に影響を及ぼすことが明らかにされた¹⁰⁾。25℃貯蔵の場合、大気条件では経 時的に AOX誘導量が増加するのに対し、低O。、高CO。環境では有意に誘導が抑制された。そ の一方で COX 誘導量は環境気体組成の影響は受けない (図4)。両酵素は O。消費酵素であるこ とから、環境O。濃度に応答してAOX誘導量を増減させている可能性が示唆されることと、生 命活動に必要な ATP は COX による O。消費に伴うことから、青果物が低 O。環境で耐え得る理 由は、環境 O。が低下した条件下でも、ATP生産に必要な COX の誘導量を維持できるためと示 唆される。

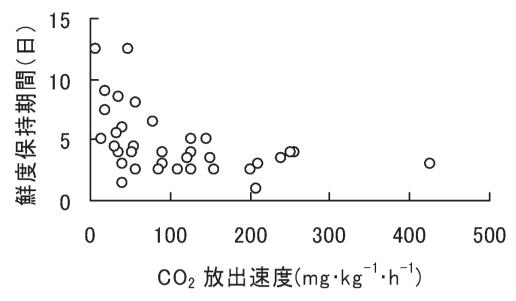


図2 呼吸速度と鮮度保持期間の関係 (20°C)³⁾ (© 2008 日本包装学会)

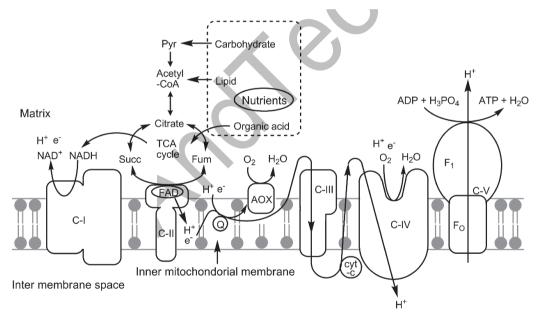


図3 植物細胞内の電子伝達系における O_2 消費と栄養成分分解の関係 $^{(6)}$ (© 2013 日本食品科学工学会) McCabe et al. $^{(7)}$ および Miller et al. $^{(8)}$ の文献を参考に取りまとめた。複合体の位置関係は常時動的に変化する。ADP: アデノシン5'ーニリン酸: ATP: アデノシン5'ー三リン酸: AOX: オルタナティブオキシダーゼ: CoA: コエンザイム A: C-I, C-II, C-III, C-IV, C-V: Complex I(NADH-ユビキノンレダクターゼ)、II(コハク酸デヒドロゲナーゼ)、III(ユビキノン-シトクロム c オキシドレダクターゼ)、IV(シトクロム c オキシダーゼ)、V(F_0F_1 -ATP シンターゼ): cyt-c: シトクロム c: FAD: フラビンアデニンジヌクレオチド: F_0 , F_1 : 複合体Vのサブユニット: Fum: フマル酸: NAD: ニコチンアミドジヌクレオチド: Pyr: ピルビン酸: TCA: トリカルボン酸: Succ: コハク酸。

青果物の鮮度・栄養・品質保持技術としての 各種フィルム・包装での最適設計

平成30年3月7日 第1版 第1刷

定価 50,000 円 + 消費税

発行人・企画 陶山正夫

企 画 編 集 青木良憲

編集・制作 株式会社 And Tech 発 行 所 株式会社 And Tech

₹214-0014

神奈川県川崎市多摩区登戸 1936 ウッドソーレ弐番館 104 号室

TEL: 044-455-5720 FAX: 044-455-5721 URL: http://techzone.jp/

印刷・製本 倉敷印刷株式会社